

## 名倉繁樹

差出人: [REDACTED]  
送信日時: 2010年4月13日火曜日 9:51  
宛先: [REDACTED]  
CC: 本店 土木調査 [REDACTED]; 本店 土木調査 [REDACTED]  
件名: Re: 小高 確認しました。RE: 国際津波シンポジウムのご報告  
添付ファイル: P22-3.JPG

分類項目: 分類項目 赤

名倉様

ご連絡が遅くなり失礼いたしました。  
既に地図でご確認されたかと思いますが、小高とは「南相馬市小高区」  
です。昔は小高町でしたが、原町市等と合併したようです。

調査地点については、添付する写真（P-22 のポスターの一部）をご覧  
ください。小高川より少し南の「小高区女場」周辺の低地だと思われ  
ます。地図にスケールをあてて測ると、調査地点は、福島第一地点の  
13～14km くらい北です。

産総研の宍倉氏がポスターの説明をしてくれましたが、不思議なこと  
に、標高はポスターに記載されておらず、聞いても「まだ調査中」と  
の回答があっただけでした。

以上、よろしくお願い致します。

=====

[REDACTED]  
東京電力株式会社 原子力設備管理部  
新潟県中越沖地震対策センター 土木調査グループ  
兼土木技術グループ  
〒100-8560 東京都千代田区内幸町 1-1-3  
phone: [REDACTED]  
fax : [REDACTED]

=====

Original Message -----

From: "名倉繁樹" <[REDACTED]>  
To: "[REDACTED]" <[REDACTED]>  
Cc: "本店 土木調査 [REDACTED]" <[REDACTED]>; "本店 土木調査 [REDACTED]" <[REDACTED]>  
Sent: Monday, April 12, 2010 8:02 PM  
Subject: 小高 確認しました。RE: 国際津波シンポジウムのご報告

> 東京電力（株） [REDACTED]様  
>  
>  
> お世話になっております。  
> 原子力安全・保安院 耐震安全審査室 名倉です。  
>  
> 地図で確認しました。  
> 敷地から北方約 15km にある小高町の小高川河口近辺ですね。  
>  
> よろしく願いいたします。

>  
>  
>-----  
> 経済産業省 原子力安全・保安院  
> 原子力発電安全審査課 耐震安全審査室  
> 名倉 繁樹  
> 住所：〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1  
> TEL：03-3501-6289（直通）  
> FAX：03-3580-8535  
> E-Mail：[REDACTED]  
>-----

>  
>  
>  
>-----Original Message-----

> From: [REDACTED] [mailto:[REDACTED]]  
> Sent: Monday, April 12, 2010 4:41 PM  
> To: 保安院 名倉様  
> Cc: 本店 土木調査 [REDACTED]; 本店 土木調査 [REDACTED]  
> Subject: 国際津波シンポジウムのご報告

> 審査課 名倉様

>  
> いつもお世話になっております。  
> 先日お話ししましたとおり、4月10日に国際津波シンポジウムに参加しまし  
> たので、以下のとおりご報告いたします。

>  
> 日時：4月10日（土）  
> 場所：東北大学 片平さくらホール  
> 内容：

> ■ 869 貞観津波に関して

> ・産総研から2件、東北大から1件のポスター発表がありました。要点は  
> 以下の通りです。

> ○ 東北大

> ・仙台平野に限定した調査・分析内容を発表。福島県内では新たな情報は  
> 追加していない。  
> ・津波堆積物基底下の地層の侵食状況を観察し、津波外力を踏まえて波源  
> 域を推定した。  
> ・産総研モデルと比較すると、北に波源を置いている。

> ○ 産総研

> ・小高で新たに堆積物確認（標高はポスターには記載されておらず、質問  
> したが教えていただけなかった）  
> ・小高を追加して、昨年提案したモデル8とモデル10をチューニングして  
> 津波再計算をしたが、どれもうまくいかない。  
> ・小高はいま追加現地調査中。  
> ・小高より南でも現在調査中（場所と結果が出る時期を質問したが、教え  
> ていただけなかった）。

> ということで、まだ波源確定にはもう少し時間がかかる模様です。

> ■ 東電ポスターに関して

> ・柏崎刈羽の津波評価事例を説明した東電のポスターには、気仙沼市の職  
> 員しか来ませんでした。  
> ・気仙沼市から、「近々、1960年チリ津波の50周年の記念行事をやるので、  
> その会場に東電ポスターを掲示したい。ついてはこのポスターをもらっ  
> て帰りたい」と依頼され、差し上げました。

>  
> 以上、よろしくお願いたします。

> [Redacted]  
>  
>

> =====

> [Redacted] [Redacted]

> 東京電力株式会社 原子力設備管理部  
> 新潟県中越沖地震対策センター 土木調査グループ  
> 兼土木技術グループ  
> 〒100-8560 東京都千代田区内幸町 1-1-3  
> phone: [Redacted]  
> fax : [Redacted]

> =====

>